

2024年6月21日 第3474回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 藤村 会長
<斉 唱> 「それこそロータリー」
<退会会員挨拶> *関口 太郎、福西 美子 両会員
<会長報告> *第1グループ三役会(於:住よし)から
・財団寄付ならびに米山寄付実績報告について
寄付については全て目標達成
*ガバナー事務所から
・2024-2025年度地区ロータリー財団セミナーおよび補助金管理セミナーのご案内について
7月13日(土) 受付開始: 12:30
R財団セミナー: 13:00~15:10
補助金管理セミナー: 15:30~
場所: アイクロス湘南6F「会議室」
・クラブラーニング委員長フリーディスカッション会議開催のご案内について
7月2日(火) 15:00~16:30 会場: 第一相澤ビル8F「会議室」

- <新会員入会式> *吉田 久美子 会員
<幹事報告> *ガバナー月信NO. 12
*第1グループIM報告書
<出席報告> *出席委員会 曾我委員長から6月21日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
118名	104名	70名(3名)	34名	6名	73.08%

メイクアップ: 小沢、岡田(英) 両会員 地区委員会出席
竹株、萩原両会員 ピンクリボン講演会出席
勝見、兼城両会員 被選理事役員会出席

<ニコニコ報告>

- ・関口 会員 誕生月祝いとして
- ・関口、荻山、加賀本、寺田、浅葉、前川 各会員 入会月祝いとして
- ・三 役 第4回クラブ協議会一年の活動報告よろしくお願ひいたします。
- ・南、大野(働)、荻山、永井、福西、長島、小佐野、江口、小平、浅葉、杉浦、長尾、寺田、関口、森、松本(働)、徳永、前川、齋藤(働)、澤田、瀬戸、谷、波島、松岡 各会員
本日は第4回クラブ協議会年度報告です。三役、理事、各委員長の皆様、1年間大変お世話になりました。本日の報告もよろしくお願ひいたします。
- ・木村、加藤(働)、田中、大石、椿、岩崎、梁井、比護、植田、齋藤(働)、田邊、小林(-)、山下、角井 各会員
本日の第4回クラブ協議会で年度報告をさせていただきます。1年間のご協力に対し、感謝申し上げます。
- ・三 役 吉田久美子会員ようこそ横須賀RCへ。楽しいロータリーライフを一緒に過ごしましょう。
- ・岡田(働)、石田、八巻、梶木、権田、杉浦、佐久間、上林、加賀本、鈴木(働)、植田、齋藤(働)、前川、澤田、松岡、濱田、鈴木(働)、前田、小山(働) 各会員
吉田久美子会員、横須賀ロータリークラブへの入会おめでとうございます。ともにロータリーライフを楽しみましょう！

- ・吉田 夙 会員 本日より入会させていただきます。よろしくお願ひいたします。
- ・八 巻 会員 商工会議所不動産部会視察研修へ行くので早退いたします。

<卓 話>

クラブ協議会「年度報告」

1. 藤村 昌一 会長

まずは、皆さんに支えていただき、曲がりなりにも1年間、横須賀ロータリークラブの会長を務めることができましたことを心よりお礼を申し上げます。

ありがとうございます。

さて、昨晚、1年前に書いた会長方針を読み返してみたのですが、例年の会長方針がそうであるように、自分のカラーを出そうと、「環境問題」や「ロータリー家族の参加」などのキーワードを持ち出したのですが、また、新型コロナウイルス感染症の5類移行もあって、少々力みながら今年度のスタートを切りました。

年度前半は、「中間報告」でご報告したように、環境をテーマにした卓話やイベントを企画し、年忘れ家族例会では大勢のご家族にご参加いただくことで、おおむねこの年度方針に沿って実施できましたが、その一方で年度後半は、10,000メートルプロムナードクリーン作戦や職場見学会、地区・研修協議会やピンクリボン講演会などの重要行事が立て続く中で、あまり自分のカラーを出せなかったようにも思われます。

しかし、その分、担当委員会をはじめ大勢の会員の方々にごんばっていただき、地区・研修協議会をはじめ、いずれの行事も立派に開催することができました。周囲からは、さすが横須賀ロータリークラブと、お褒めの言葉をいただきまして、コロナ禍明けの年度でしたが、クラブ会長を務めることができたことをとても幸運に感じております。

ところで、1点触れておきたいこととして、毎週のクラブ例会を縁の下で支えてきてくださったZoom配信チームがあります。本日も、デジタルIT委員会と親睦活動委員会のいつもの顔触れですが、毎週金曜日の午前10時頃に早々と準備のために集まっています。コロナ禍で始まったZoom配信ですが、現在は、出張先や遠隔地からの例会参加に利用されており、退会防止にもつながる大切なツールとなっております。

今年度はそのノウハウにさら磨きをかけて、設営作業の簡素化と設営時間の大幅短縮、そして、そのマニュアル化を進めてもらいました。

そのようなZoomチームのご苦勞に対して、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。皆さん、大きな拍手をお願いいたします。1年間、本当にありがとうございました。

これで次年度も続けていただけるのではないかと思います。

さて、他の委員会活動についても触れたいところですが、限られた時間ですのでご容赦ください。

最後になりますが、私は今年で65歳という人生の節目において、長いようで短いとても充実した1年間を送ることができたことを心より感謝申し上げます。あまり語り尽すと最終例会のネタがなくなりますので、今日のところはこのくらいにしたいと思います。

1年間、本当にありがとうございました。

2. SAA 角井 駿輔 会員

SAA業務として活動計画書に挙げた内容につき、年度報告時の状況をご報告いたします。

- ① 例会の円滑な進行につきましては、親睦活動委員会・会報委員会・デジタルIT委員会の皆様のご協力の下、Zoom設備の設置を含めた会場準備を行いました。SAAとしましては、音響設備機器の老朽化に伴う各種不具合が気になるところであり、次年度以降の検討事項としていただければと思います。
- ② テーブル分けにつきましては、第2クール：干支、第3クール：職業分類、第4クール：入会月と、多様な基準を用いることにより、多くの会員同士が交流できるように留意しました。また、私自身、テーブルミーティングには極力参加するように心がけた結果、テーブル同士の日程が重複してしまったなど以外はほぼ全テーブルに出席しました。
- ③ ニコニコBOXにつきましては、今期目標370万円に対し、先週6月14日時点3,525,500円、対予算95.28%の状況であり、目標額まで174,500円です。これまでの会員皆様のご厚意に感謝しておりますが、目標額達成のいかんは最終例会にかかっております。ぜひよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、至らない点の多い私が1年間SAAを務めることができたのは、ひとえに会員の皆様と事務局三宅さんのご協力のおかげです。この場をお借りして深く感謝申し上げます。次年度は、小山(美)SAAと比護副SAAの黄金コンビです。お二人に対するご支援・ご協力をお願いし、私からの報告を終わります。1年間どうもありがとうございました。

3. クラブ管理運営委員会 担当理事 高橋 隆一 会員

本年度 副会長を務めさせていただきました高橋です。よろしくお願い申し上げます。

藤村会長、鈴木幹事とともに1年間クラブ管理運営を勉強させていただきました。

横須賀ロータリークラブの運営の基礎を担う会報・雑誌・出席・親睦委員会を担当させていただきましたが、大石会報委員長・鈴木(豊)雑誌委員長・曾我出席委員長・比護親睦活動委員長、委員会の皆様にしっかりと会務を進めていただきました。

卓話者の会報への掲載のまとめ方やロータリーの友紹介の要点整理、出席率の向上を目指していただき、いろいろな行事において親睦の進め方など改めて勉強になることが多い1年でした。

副会長として、藤村年度と一緒にやらせていただき、次年度としてクラブ運営の基礎として渡邊(磨)次期副会長と委員長の皆様、委員の皆様と一緒にクラブを盛り上げてまいりたいと考えていますので、よろしくお願いしたいと思います。

1年間、ありがとうございました。

4. 会報委員長 大石 朗 会員

今年度の週報に関しては、会報委員の皆さん、石田副委員長、事務局 三宅さんの多大なる協力で順調に発行することができました。ここに委員、関係者の皆さんに深く感謝申し上げます。

校正に当たっては、できるだけ統一した基準とするため、共同通信社から刊行されている新聞用字用語集「記者ハンドブック」によることとしました。

これにより、日常一般に使われる標準的な分かりやすい口語体を使い、文語体や文語的表現は避けました。

内閣告示に基づく常用漢字と音訓表をもとに字種と読み、および現代仮名遣いによる漢字・平仮名交じりを主体にし、必要に応じて片仮名、ローマ字を使用しました。

計画に掲げました会報のペーパーレス化は成し遂げることができませんでしたが、ホームページ掲載の週報には写真を多用し、臨場感ある週報に近づいたものと自負しています。

卓話記事が長いとの指摘もいただきました。できる限り完結にする努力をしたつもりですが、本日のタウンニュースを見ますと、簡潔であるうえに、要点が非常によくまとまっていて、努力不足を痛感しました。

次年度は梁井会員が委員長を務めます。私も会報委員会に一番近い親睦活動委員会の副委員長になりますので、来期も一緒にクラブを盛り上げたいと思います。1年間、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

5. 雑誌委員長 鈴木 豊司 会員

毎月初日の例会にて「ロータリーの友」をご紹介している雑誌委員会です。

偏らない視点でのご紹介が大切だと考え、本年度は4名の委員が持ち回りで紙面の紹介をさせていただきました。

本誌に掲載されたロータリーの理念や国内外の活動を端的に紹介し、今後のロータリー活動の活性化へと寄与することが私たちの使命だとは承知していましたが、楽しい内容についついのめり込み、発表に時間を費やし、持時間の3分を大幅に超えてしまったことは唯一の反省点です。

「ロータリーの友」は本当に素晴らしい雑誌です。次年度も委員からのご紹介があるかとは思いますが、週末等お時間ある際には、ぜひ熟読されますことをお勧めいたします。

1年間ありがとうございました。

6. 出席委員長 曾我 宗光 会員

今年度の出席委員会は、小平会員・加賀本会員とともにローテーションを組み、例会時の出席報告を行ってまいりました。新たに、出席報告の際にはメイクアップされた会員のお名前も読み上げさせていただき、全体の出席率向上が促進されるような取り組みもさせていただきました。

この1年間、会員の皆様には出席率の向上にご協力いただきましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

7. 親睦活動委員長 比護 友一 会員

本年度の大きな事業として、昨年10月6、7日(土、日)での会員親睦旅行会(熱川・三島・沼津方面27名参加)、12月22日(金)の年忘れ家族会(メルキュールホテル、会員79名、家族37名、合計116名参加、アトラクション:二胡演奏会)を行いました。会員皆様のご協力に感謝いたします。真夏のローターアクトとの合同例会や職場見学会、ピンクリボンよこすかチャリティー講演会など、他の委員会と一緒に活動できたことも本当に良かったと思えました。

SAAと連携した例会会場の設営やさまざまな懇親会の設営、例会時のZoom対応など、とても充実した1年でした。

そして、親睦活動員会として、来週の最終例会ならびに新旧会長交代式(セントラルホテル、参加予定者約110名)を担当いたします。こちらも、今年度最後の例会にふさわしい内容と次年度につながる例会にしたいと思っております。おいしい料理と若手女性ドラマー佐藤奏さんによるミニライブ等の企画も考えております。現時点の参加者は110名を超えております。場所はセントラルホテルになりますので、お間違えのないようよろしくお願いいたします。

親睦活動委員会として、準備のための委員会を例会後に4回も開催させていただき、その都度参加いただいた委員の皆様には感謝申し上げます。

最後になりますが、三役の皆様、岡田(英)カウンセラー、事務局の三宅さんの意見を聞きながら、委員会メンバーとともに楽しく委員会を行ってきたことに感謝を申し上げます。委員会報告とさせていただきます。ありがとうございました。

8. プログラム副委員長 岩崎 次郎 会員

中村(清)委員長からメッセージをお預かりしておりますので、代読させていただきます。

「例会の卓話プログラムに関しては、会長の強いリーダーシップもあり、新年度の開始時点ではおおよそ半年先までの企画を決定しており、また、三宅さんやデジタルIT委員のご協力もあり、毎回スムーズに運営することができました。

卓話の内容も、会長・副会長・幹事をはじめ、プログラムIT委員会メンバーと連携し、会員の皆様に興味を持っていただけるよう、脱炭素、細胞農業などの最先端科学分野、エコツーリズムや観光政策へのコンテンツの活かし方、中世日本史や鎌倉文士の魅力、充実したシニア世代へのアドバイスやお笑いの世界で生き残る方法に至るまで、幅広く各分野でその道を究めている方々を卓話者として招くことができました。

ロータリー活動に関するものとしては、財団の補助金事業に関する卓話やVTT活動報告もあり、バランスの良いプログラムになったと思います。

皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました」

私は次年度、プログラム委員長として活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

皆様、1年間ありがとうございました。

9. 広報・公共イメージ委員長 梁井 康市 会員

広報・公共イメージ委員会は、ロータリークラブの公共イメージの向上を目的として、ホームページ等により情報を発信しております。

今年度は、ピンクリボンイベント、ポリオ根絶活動、VTT活動、地区研修・協議会、奉仕基金プロジェクトなど、当クラブの活動および成果につきまして発信してまいりました。

情報発信に際しましては、各イベント情報のご提供やメディアとの連携につきまして多数の会員の皆様にご協力いただき、年間を通しまして情報発信できたと思えます。

ご協力いただきましてありがとうございました。

今後も更なる公共イメージ向上を目指して、次年度は物井委員長が情報発信にご尽力されることと思います。引き続きご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

10. デジタルIT委員長 木村 一郎 会員

デジタルIT委員会は、例会のZoom中継およびマイロータリーの登録増強活動をしてまいりました。年度の途中からは機器の簡略化も進み、設営時間も短縮でき、トラブルの頻度も減らすことができたと思います。

さらに、今年度は親睦活動委員の方々にもお手伝いをいただき、スムーズに運ぶこともできました。親睦委員会の皆様ありがとうございました。

Zoomは来年度も続くようですので、さらなる効率化ができるといいと思っております。

さらに、デジタルIT委員会でできることで、クラブ運営のためになることは、新しいことを含め取り組んでいきたいと思っております。

ありがとうございました。

11. ロータリー情報・研修委員長 田邊 一三 会員

新会員を対象とした情報セミナーを昨年9月27日(水)に、小沢(一)カウンセラーを講師にお迎えして三春町の甲羅本店で行いました。参加者は15名で、和やかなうちにも普段なかなか拝聴することのできない米山記念奨学会をはじめロータリー情報の貴重なお話を伺いました。

情報集会は10月27日(金)に、セントラルホテルにおきまして「ロータリー財団の補助金事業を考える」をテーマに行いました。地区ロータリー財団委員会 柚木裕子副委員長の「ロータリー財団への理解を深める」の講話の後、6グループに分かれ「ロータリーの補助金事業を考える」と題して活発な討論を行いました。

本年4月12日には2回目の情報集会を予定しておりましたが、諸事情により変更し、「米山奨学会の現状と今後について」と題して、クラブロータリー財団・米山奨学委員会 齋藤秀人担当役員による卓話を拝聴しました。

昨年11月26日の地区大会、本年5月のシンガポールでの世界大会には多くに会員の参加をいただきました。4月21日の地区・研修協議会は当クラブがホストとなって開催いたしました。会員皆様のご協力により成功裡に終わらせることができました。第2780地区のロータリーメンバーに当クラブの底力をお見せできたものと確信しております。

皆様のご協力に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

12. 職業分類委員長 鈴木 孝博 会員

職業分類委員会では、職業分類の役割を十分考慮し、時代に沿った事業および専門職の環境に合わせた適正分類を行ってまいりました。幅広い交流を通じて、未充填の減少を図り、クラブ内の職業倫理の高揚に努められたと思います。また、1年を通して横須賀ロータリークラブにふさわしい方の入会への取り組みがしっかりとなされました。1年間ありがとうございました。

13. 会員選考委員長 渡邊 磨 会員

会員選考委員会では、職業分類一覧表にあります未充填分野を整理確認し、会員の拡充に努めてまいりました。

会員に推薦された方は、上半期に2名・下半期に4名の合計6名になります。推薦された6名の方につきましては、人格・資質を十分に備える素晴らしい方々であり、皆さんにご入会いただくことができました。今後のますますのご活躍を祈念して報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

14. 職業奉仕委員長 田中 由紀子 会員

本年1月に行いました横須賀学院中学校3年生を対象にした職業体験学習では、お受け入れしていただきました各事業所の皆様にお礼申し上げます。お忙しい中、誠にありがとうございました。

体験者による報告会は学校の行事と重なったため、ビデオメッセージによるコメントになりましたが、生徒たちの様子を見てみると「充実した職場体験ができたのだな」と感じました。

そして、5月に行われました職場見学会では千葉の酒蔵へ行ってまいりました。実は職場見学会をどこで行うかについて、いろいろな案があったのですが、ギリギリまで決まらず最終的には藤村会長との長島会員に決めてもらいました。見学会当日は、退院直後にもかかわらず長島会員のアテンドもあり、スムーズかつ無事に終えることができました。

1年間、職業奉仕委員長を楽しく行うことができたことは、皆様のご協力があったのことに感じております。誠にありがとうございました。

15. 社会奉仕委員長 齋藤 眞且 会員

本年度社会奉仕委員会の活動の3つの柱である①ポリオ撲滅募金活動、②10,000メートルプロムナードクリーン作戦、③市内作業所製品の例会での販売でしたが、市内作業所製品の例会での販売は本日の例会での販売をもって終了いたしました。

その中での加藤（淳）副委員長の功績は大きく、今後多く語り継がれる会員になると思います。

田中次年度委員長との引継ぎの時点では、この3つの取り組みを継続する意向である旨を伺っております。横須賀ロータリークラブの社会奉仕活動をつないで、活動のさらなる発展を願っております。

16. 青少年奉仕委員長(担当役員) 小林 一博 会員

青少年奉仕委員長は、異動のため退会した田村督会員でしたので、代わって私から報告させていただきます。

昨年8月20日に台湾から交換留学生のサム君をお迎えしました。来日したばかりの頃は言葉が分からないこともあり、とても緊張しているようでした。

その後、日本の生活にも慣れ、友達もたくさんできたことで、楽しく学校生活を過ごしていると報告を受けております。

来月、帰国となりますが、この素晴らしい経験・体験がサム君にとって大切な財産となり、今後、日本との懸け橋となってくれることを心より願います。

最後になりますが、ホストファミリーとなっただきました藤村会長、前田会員、物井会員、平野様に心より感謝申し上げます。

17. ローターアクト委員長 臼井 健 会員

ローターアクト委員会の活動内容および活動の結果を報告いたします。

ローターアクト委員会は、昨年8月のインターアクトとの猿島クリーン活動合同例会・齋藤(眞)会員のご自宅をお借りしてのピザ例会・フリマ例会・12月ローターアクト年次大会と毎月のアクト例会に副委員長の岡田(圭)会員とともに活動してまいりました。

アクトのメンバーとの連絡関係がまだまだ上手に取れなく、各例会時のロータリアンの皆様への例会案内等のアナウンスがあまりできなくて申し訳ございませんでした。

1年間を通して、ローターアクトのメンバーの考え等を聞くことにより、私自体も今までになかった貴重な経験をさせていただきました。

また、ロータリアンの皆様のサポートのおかげでローターアクト委員長を続けることができました。ローターアクト委員長に選んでくれた藤村会長、誠にありがとうございました。

今回の経験を活かして、今後のロータリー活動もがんばりたいと思います。

18. VTT特別委員長 山下 和男 会員

2019（令和元）年にスタートした、セブロータリークラブとのマッチンググラント、総額163,000ドルの大型VTTプロジェクトが、昨年11月13日から19日セブにての現地での活動および報告ビデオ費用、それを格納するためのUSB購入費の支払いを終わりました。

残すところ、ロータリー財団への収支報告ならびに承認をもって終了することを報告します。

詳細は、先日ラインにもアップした、久保田会員が作成した報告ビデオがございますので、そちらをご覧ください。ご希望者がおられましたらデータをお渡しいたします。

高橋次年度会長においても、ロータリー財団補助金を利用した計画のお考えがあると聞きいておりますので、多様な知識経験をお持ちの会員の皆様に、この国際奉仕活動に興味を持っていただき、積極的にご参加のほどをお願い申し上げて、ここに報告とさせていただきます。

19. 中期ビジョン特別委員長 植田 威 会員

横須賀ロータリークラブの中期ビジョンは、「私たちは、地域社会や世界が変化する中、大切にしたいことを感じ取り、多くの人々と出会い、奉仕の輪をひろげ、豊かな魅力ある社会を育てる」です。クラブとしての成長目標として岡田(英)会長年度に策定されました。

そして、中期ビジョンを達成するための戦略計画(行動計画)が、前田会長年度に、五大奉仕にひもづけ、優先事項15項目という形式でまとめられました。

本年度は、藤村会長から「次年度以降のグローバル補助金事業および地区補助金事業の企画検討の契機の機会づくり」との指示をいただき、ロータリー情報・研修委員会、ロータリー財団委員会と連携し、昨年10月27日に情報集会の運営を支援させていただきました。「ロータリー財団の補助金事業を考える」をテーマに、①地区ロータリー財団委員会の柚木副委員長による講話、②6グループによる熟議、③ファシリテータによるグループ発表が行われました。グループ熟議の概要は、翌月の理事・役員会に報告させていただきました。

以上、中期ビジョン特別委員会の報告とさせていただきます。

20. ピンクリボン運動特別委員長 椿 和香 会員

ピンクリボン運動特別委員会の年度報告をさせていただきます。

10月1日からのピンクリボン月間には、ピンクリボンかながわさんのライトアップフォトコンテストに協賛し、石田会員にご協力いただき、リドレ横須賀をピンクにライトアップしていただいたほか、横須賀市のご協力により、今年初めてティボディエ邸もライトアップしていただき、そちらの写真がコンテストで2つの賞をいただきました。

5月26日には、ベイサイドポケットにてピンリボンよこすかチャリティー講演会を開催し、363枚のチケットを完売、48名の方が受診してくださいました。

また、昨日、知人から「今回の検診で再検査を促されました。検診の機会を与えてもらいありがとうございます。ロータリーの皆様へよろしくお伝えください」との連絡がありましたことを申し添えます。

チケットやポスター等のご協力、当日のお手伝いまで1年間の会員の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

21. 奉仕基金プロジェクト委員長 加藤 淳 会員

地域の皆様が「今、何が必要で何をすると一番喜ばれるか?」を知る意味で地域の奉仕活動を行う団体等に広く呼びかけ、地域の皆様と一体感をもった「実りある社会奉仕の新たな形づくり」として、当クラブ会員の皆様が拠出した資金で、ひとり親家庭と無料学習塾へ食品支援をしている「NPO法人神奈川フードバンク・プラス」、農業を主軸とした地域社会貢献事業を行っている「特定非営利活動法人こどもの夢サポートセンター」、発達障がい者を含む地域の小中学生が農業ビジネスに従事し地域課題の解決にチャレンジする「横須賀ジュニアビレッジ」の3団体に、総額40万円を「奉仕の基金(助成金)」として贈呈いたしました。

そして、その活動報告会を本年6月に開催し、贈呈された3団体の皆様からは「中学3年生対象の無料学習塾では勉強後の軽食提供で対象生徒24名全員が公立高校合格」、「農機具提供で農作業が楽しく参加者も増えた」、「新たなビジネス体験ができ、子どもたちにとってロータリークラブが身近になり、社会からの支えを実感した」等、多くの温かいお礼のことばをいただくことができました。

これからも横須賀の街にこの輪が広がり、それがひいてはロータリーの認知度を上げ、会員増強にも結び付けられれば良いと思っております。

22. 幹事 鈴木 之一 会員

本年度幹事を務めさせていただきました鈴木です。
本日委員長が欠席された委員会の報告を代読させていただきます。

・会計 鷺尾 精一 会員の代読

収入に関しましては概ね予定通り推移しております。
ニコニコは皆様のご協力により順調に集まっておりますが、前年比で見ますと減です。
支出面に関しましては、各事業ご担当の委員長の努力のおかげで支出を抑えて頂きました、移動例会もほぼ出席負担のおかげで支出を抑えて頂きました。
直近の事業の決算と最終例会とまだ支出が見込まれておりますので最終の決算報告につきましては、会計監査を受けた後、皆様にご報告させていただきます。

・会員増強・会員維持委員長 新倉 良是 会員の代読

今年度の入会者数は6名、退会者数は8名と2名少なくなりましたが、地区の目標「会員数の維持」にはそれほど大きな相違はなかったと思います。これはひとえに会員の皆さんの「またロータリーに参加したくなる」雰囲気づくりの結果です。来年度も会員の皆さんで楽しく1年間を過ごしていただきたいです。
本当にありがとうございました。

・国際奉仕委員長 勝見 慎一 会員の代読

今年度国際奉仕委員会の活動計画書に記載した活動計画に沿って、フィリピンのセブロータリークラブと協力し、セブ市に設立した口唇口蓋裂センターへの技術移転プロジェクト最終年度としてVTT委員会を中心に行いました。
また、台湾からの交換留学生の受け入れをホストクラブとして当クラブが行いました。今年度、諸外国の災害支援のための募金活動は行いませんでした。

・インターアクト委員長 小山 陽生 会員の代読

1年間インターアクト委員長をさせていただきました。
三浦学苑インターアクトの皆さんは、横須賀ロータリークラブの提唱クラブとして10,000メートルプロムナードクリーン作戦やポリオ根絶募金でも欠かすことのできない存在です。
また、月1回の地区での2780地区インターアクトクラブが集うアクターズミーティングにおいても他校を引っ張り、私としても鼻高々で誇りに感じておりました。
高校生ですので、3月に3年生が去りましたが、4月に新体制の下、16名もの1年生に入会いただきました。
引き続き、第2780地区インターアクトの中で光り輝く存在になってくれると確信しております。
60歳を超えた私にとって、三浦学苑の皆さんや他校のインターアクトの皆さんとお話したり、ゲームに興じたりすることは、なかなか体験できることではありません。私があと20歳若ければ、兄貴的存在としてもっと積極的に交流ができたのではないかと悔しく思っています。
しかし、次年度は石田会員が、インターアクト委員長になり、垣根のない関係を培っていただけるものと期待しています。

・ロータリー財団委員長 E. Rogers 会員の代読

ロータリー財団への寄付金は、円安にもかかわらず上々の結果となりました。
年次基金のクラブの合計額は28,570ドルでした。会員一人当たりの実績は238ドルで、200ドルの目標を達成し、地区平均の160ドルを大きく上回りました。
寄付の認証に関しては、新たにメジャードナー1名、ポール・ハリス・フェロー3名、ベネファクター1名が当クラブから誕生するとともに、94名の会員が100ドル以上の寄付をしています。
以上、寄付に関しまして、会員皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。
なお、年次基金、ポリオプラス、または承認された財団補助金に1,000米ドル以上寄付した方は、ポール・ハリス・フェローのステータスを得る資格があります。

さらに「ポリオプラス・ソサエティ」の参加申込に対して、14名のご協力をいただきましたことをご報告させていただきます。

・米山奨学委員長 土田 匡明 会員の代読

今年度は、昨年8月5日(土)に、つくば国際会議場で米山学友による世界大会『再会IN関東』が開催されました。

38か国の米山学友の他、多くのロータリアン、家族が参加されました。次回の世界大会は2026(令和8)年6月に台湾で開催される予定です。

また、毎年恒例の江の島西海岸の海岸清掃もあり、こちらもたくさんの米山学友・奨学生・ロータリアンが参加いたしました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、米山奨学生、学友の活動もコロナ禍前と同様に活発になってきていると感じました。

会員の皆様には米山奨学事業の目標達成のため、今年度もお一人2万円以上のご寄付をお願いしておりました。皆様ご協力ありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。

最後に幹事としての報告を行います。

2023-2024年度横須賀ロータリークラブの幹事として会員皆様に支えられた1年でした。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、さまざまな制約が解け、藤村会長のもと運営してまいりました。

65歳を過ぎると、嫌なことは忘れませんが、楽しいことはいつまでも覚えています。1年間にわたり理事役員の皆様のご協力の下、ともに活動できたことを大変誇りに感じるところであります。

設営・撤収と毎回の例会運営が順調に進められたのも、SAAをはじめ親睦活動委員会、広報委員会そして事務局三宅さんのご尽力のたまものと感謝申し上げます。

そして、何よりも会員の皆様の深いご理解とご支援に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 浅葉 孝己